

1 . 6月10日(日) 6月17日の交流会準備作業  
マツタケ山再生事業 準備会 県立緑化センター 参加者 M氏

2 . 6月16日(土) 呉市まちづくり活動企画助成 公開選考会

パソコン、スクリーンを使って企画説明 説明時間5分に12秒を残して終了  
審査委員の質問 2人に回答、13グループの発表が終って最後に選考結果発表、  
当会がはからずも第2位。後日改めて活動計画書(収支予算書・活動スケジュール)、  
助成金交付申請書等を提出し、6月29日助成金交付決定を受けた

3 . 6月17日(日) マツタケ山再生事業 県立緑化センター

ひろしま緑づくりインフォメーション(略称GIC)参加団体の交流事業  
今年から五年先までの「マツタケ林再生・里山整備事業」

参加者 男性7名 女性3名 計10名

全体の参加は13団体 63名 マツタケの生える山をめざして、  
急斜面の下刈りに悪戦苦闘した。車は乗り合わせ、参加費各自300円負担。

4 . 7月1日(日) 特別例会その1

ところ 灰が峰公園

整備内容 野積の竹を機械で粉碎(チップパーマシン)  
森を脅かす竹の伐採 雑木の伐採  
草刈 草抜き

参加者 20名

役所関係 5名

一般参加 女性6名 男性23名 合計29名

作業結果  
イ、野積していた竹の山、ひとやまをチップに出来た  
口、管理棟近くの道路左右の竹を伐採したので林が明るくなった  
ハ、竹チップを森に返し、道路脇の植木にも播いた  
ニ、林や雑木を伐採できた  
ホ、粉碎したい野積の竹の山の処理は、今後3台(日)分のリース料が必要

猪肉を戴き猪で汁を女性参加者でつくり賞味できた

一般参加のN氏「世の中に役に立つボランティアをしたいと思っていたが、チャンスがなく今回はよい活動だった、又参加したい」と語る。U氏、K氏「公園まで道中は、本当にこの先に公園があるかどうか不安だ」「道路の左右は草や枝木がいっぱいでよほどの人しか通りそうもない」と話す。今回の活動企画に役所の人・一般の人の積極的な参加・活動は有難く、市民協働事業としての意義も高い。助成金の一部でヘルメットを購入し、みんなで着用した。

5 . 次回特別例会(その2)のご案内

ご都合のある方はご一報いただくと幸いです

と き  
集合場所  
整備内容  
持ち物

8月4日(土) 先日のチラシは8/5(日)を役所の要望で変更  
灰が峰公園 駐車場 午前9時集合

主に竹の粉碎、伐採

名札 ヘルメット 帽子 腕章 手袋 飲み物 タオル おわん 弁当



小鳥観察階段にて



竹の伐採中



野積み竹の間に竹が茂ってきた



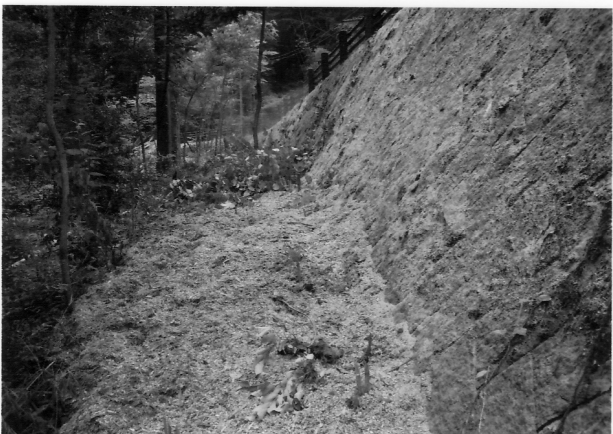
伐採中



チップパーマシン稼働中



伐採中



竹チップを森へ撒く



植木にチップを撒いたところ